

FavorPrep™ Total RNA Plus Extraction Mini Kit

Cat. No. : FATR2020 (4 回分) / FATR2023 (50 回分) / FATR2024 (100 回分)

本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

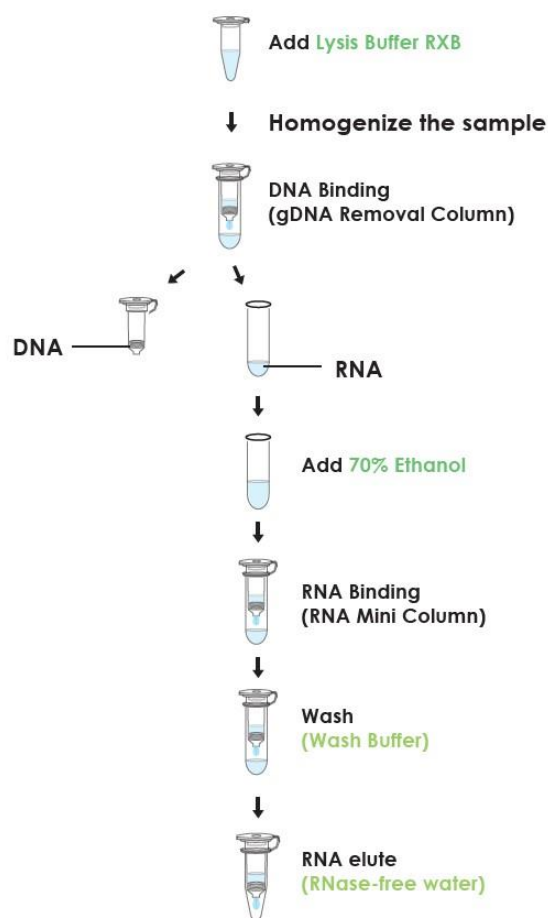
	FATR2020 (FATRK-P 004)	FATR2023 (FATRK-P 050)	FATR2024 (FATRK-P 100)
	(4 preps)	(50 preps)	(100 preps)
Lysis Buffer RXB	1.6 ml	20 ml	40 ml
Wash Buffer (Concentrate)*	1.5 ml	15 ml	35 ml
RNase-Free Water	0.5 ml	6 ml	6 ml
gDNA Removal Columns (green)	4 pcs	50 pcs	100 pcs
RNA Mini Columns	4 pcs	50 pcs	100 pcs
Collection Tubes	12 pcs	150 pcs	300 pcs
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加する 96~100%エタノール量			
Wash Buffer	6 ml	60 ml	140 ml

● 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピナラム)
サンプル量	動物細胞: 最大 1×10^7 cells 組織: 最大 30 mg
溶出量	30~50 μ l

● 重要事項

1. サンプル量は上記最大量を超えないようにしてください。
2. 操作に関連するものは、すべて RNase-free であることを確認してください。
3. 作業中はゴム手袋、白衣を着用してください。
4. β メルカプトエタノールは人体に有害です。操作時にはドラフトチャンバーをご使用ください。
5. Wash Buffer は開封時に必要量の RNase-free エタノール (96~100%) を加えてください。



● **操作** ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

必要なもの) β -メルカプトエタノール

70% RNase-free エタノール

ローターステーター式ホモジナイザーまたは 20-G ニードルシリンジ

<動物細胞>

1. 4°C、300 × g で 5 分間遠心分離し、最大 1×10^7 cells の細胞を回収します。上清を取り除きます。350 μ l の Lysis Buffer RXB と 3.5 μ l の β -メルカプトエタノールを加えます。1 分間ボルテックスし、細胞を完全に再懸濁します。

メモ) サンプルが多すぎると、溶解が不完全になり RNA の収量・精製度低下につながります。

2. ローターステーター式ホモジナイザーまたは 20-G ニードルシリンジに 10 回通し、ホモジナイズします。
重要！ より多くの RNA を放出するため、適切な破砕機(ローターステーター式ホモジナイザーなど)の使用を推奨します。

3. 室温で 5 分間インキュベートします。

4. gDNA Removal Column を Collection Tube に取り付け、混合液を移します。

5. 最大速度(〜18,000 × g)で 1 分間遠心分離します。ろ液は捨てないでください。

6. ろ液の上清を 1.5ml チューブ(非付属品)に移し、体積を量ります。

7. サンプルと同量の 70%エタノールを加え、パルスボルテックスで十分に混和します。

例) 330 μ l の上清に 330 μ l の 70%エタノールを加える。

8. RNA Mini Column を Collection Tube に取り付け、混合液を移します。

9. 最大速度(〜18,000 × g)で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、RNA Mini Column を Collection Tube に戻します。

10. 500 μ l の Wash Buffer を加えます。最大速度(〜18,000 × g)で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。RNA Mini Column を Collection Tube に戻します。

メモ) Wash Buffer にエタノールが加えられていることを確認してください。

11. ステップ 10 を繰り返します。

12. 最大速度(〜18,000 × g)で 3 分間遠心分離し、RNA Mini Column を乾燥させます。

重要！ この操作により、残留液がその後の酵素処理を阻害することを防ぎます。

13. RNA Mini Column を Elution Tube(付属品)に取り付けます。

14. 30〜50 μ l の RNase-Free Water を RNA Mini Column のメンブレンの中央に滴下し、室温で 1 分間静置します。

重要！ 効率よく溶出させるため、RNase-free ddH₂O をメンブレンの中央に滴下し、完全に吸着したことを確認してください。

メモ) 30 μ l 未満で溶出しないでください。収量が低下する恐れがあります。

15. 最大速度(〜18,000 × g)で 1 分間遠心分離し、RNA を溶出します。RNA は-80°Cで保管します。

<動物組織>

必要なもの) 液体窒素、乳鉢、乳棒

ローターステーター式ホモジナイザーまたは 20-G ニードルシリンジ

β -メルカプトエタノール

70% RNase-free エタノール

1. 最大 30mg の組織サンプルを液体窒素と乳鉢、乳棒で粉碎し、新しい遠心チューブ（非付属品）に移します。
350 μ l の Lysis Buffer RXB と 3.5 μ l の β -メルカプトエタノールを加えます。
メモ）計量や粉碎時にサンプルが溶けないようにしてください。
メモ）サンプルが多すぎると、溶解が不完全になり RNA の収量・精製度低下につながります。
2. ローターステーター式ホモジナイザーまたは 20-G ニードルシリッジに 10 回通してホモジナイズします。
3. ＜動物細胞＞のステップ 3 に進みます。